

日付入り写真撮影における注意点

1) 手すりの取り付け

改修前：取り付け予定の位置全体がわかるように撮影する。

改修後：手すり（下地補強がある場合はそれも含む）が全て写真内に収まるように撮影する。収まりきらない場合は、写真を組み合わせれば一箇所の手すり工事ということがわかるように、複数枚角度等を変えて撮影する。

2) 段差の解消

改修前：段差の状況がはっきりとわかるように、且つ改修する範囲が満遍なく入るように撮影する。収まりきらない場合は、写真を組み合わせれば一箇所の段差解消工事範囲ということがわかるように、複数枚角度等を変えて撮影する。

改修後：段差が解消した状況がはっきりとわかるように、且つ改修する範囲が満遍なく入るように撮影する。収まりきらない場合は、写真を組み合わせれば一箇所の段差解消工事範囲ということがわかるように、複数枚角度等を変えて撮影する。

3) 滑りの防止及び移動の円滑化のための床又は通路面の材料の変更

改修前：床・通路面の状況がはっきりとわかるように、且つ改修する範囲が満遍なく入るように撮影する。収まりきらない場合は、写真を組み合わせれば一箇所の床・通路面の材料変更工事範囲ということがわかるように、複数枚角度等を変えて撮影する。

改修後：床・通路面の材料が変わった状況がはっきりとわかるように、且つ改修する範囲が満遍なく入るように撮影する。収まりきらない場合は、写真を組み合わせれば一箇所の床・通路面の材料変更工事範囲ということがわかるように、複数枚角度等を変えて撮影する。

4) 引き戸等への扉の取替え

改修前：取り替える扉全体及びその周囲がわかるように撮影する。

改修後：扉及びその周囲が全て写真内に収まるように撮影する。収まりきらない場合は、写真を組み合わせれば一箇所の扉取替え工事ということがわかるように、複数枚角度等を変えて撮影する。

5) 洋式便器等への便器の取替え

改修前：交換する便器及びその周辺（床・壁・トイレ出入口等）がわかるように撮影する。

改修後：便器及びその周辺が全て写真内に収まるように撮影する。収まりきらない場合は、写真を組み合わせればトイレ全体の工事がわかるように、複数枚角度等を変えて撮影する。